

## 県内景況は製造業を中心に改善

## 目次

## 調査要領

1. 概況	-----	2
2. 業況判断	製造業は好転し、非製造業も改善	3
3. 売上	製造業は増加に転じ、非製造業は悪化	3
4. 受注	製造業は増加に転じ、建設業も改善	4
5. 経常利益	製造業、非製造業とも悪化	4
6. 在庫	商品在庫、原材料在庫は減少	4
7. 販売価格・仕入価格	仕入価格・製造業、非製造業とも上昇幅が拡大	5
8. 資金繰り・借入金残高	資金繰り・製造業、非製造業とも悪化	5
9. 雇用	製造業は過剰感に転じ、非製造業は横ばい	6
10. 設備投資	製造業、非製造業とも減少	6
11. 経営上の問題点	「仕入価格の上昇」が増加	7

## 調査要領

- 調査目的** 鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため。
- 調査対象** 県内企業248社、回答企業118社、回答率47.6%。
- 調査方法** 各支店を通じるか、または郵送による記名式回答。
- 調査対象期間** 平成18年4～6月実績及び平成18年7～9月予想。
- 調査時点** 平成18年7月中旬～下旬。

### 業種別回答企業数

		回答企業数	構成比	うち中小企業	構成比
製 造 業	食料品	9	7.6	9	100.0
	繊維・縫製	4	3.4	4	100.0
	木材・木製品	3	2.5	3	100.0
	紙・紙加工品	4	3.4	4	100.0
	窯業・土石	5	4.2	5	100.0
	金属・機械	13	11.0	12	92.3
	電気機械	13	11.0	12	92.3
	印刷・その他	9	7.6	8	88.9
	計	60	50.8	57	95.0
非 製 造 業	建設業	18	15.3	17	94.4
	卸売業	18	15.3	16	88.9
	小売業	12	10.2	8	66.7
	運輸業	5	4.2	4	80.0
	旅館・ホテル	5	4.2	5	100.0
	計	58	49.2	50	86.2
全部門合計		118	100.0	107	90.7

注：中小企業の範囲

- 製造業・建設業・運輸業... 資本金3億円以下または従業員300人以下の企業
- 卸売業..... 資本金1億円以下または従業員100人以下の企業
- 小売業..... 資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業
- サービス業..... 資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

### BSIとは

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。BSIがプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

# 1 概況.....県内景況は製造業を中心に改善した

鳥取県企業動向調査によると、平成18年4～6月の「自社業況の総合判断」は、製造業が好転し、非製造業も建設・卸売業の悪化幅が縮小したことなどから改善し、全産業のBSIは6.0(平成18年1～3月 13.5)と前期比7.5ポイント改善した。

製造業は業種別にみると、窯業・土石や木材・木製品などは悪化した。食料品や金属・機械が好転し、電気機械はプラス幅が拡大するなど全体では好転となった。非製造業では旅館・ホテルや運輸業で悪化幅が拡大したものの、卸売業と建設業で悪化幅が大幅に縮小し、全体でも悪化幅が縮小した。

先行きの景況感は、製造業が一進一退の状況で推移するが、非製造業は緩やかに改善することを受け、全産業の18年4～6月、7～9月の景況感は緩やかな改善傾向(4～6月・10.5、7～9月・7.5)を示す予想となっている。

## 1. 業種別の景況

製造業の景況感は、6・四半期ぶりに好転した(5.5 +2.5)。

非製造業の景況感は、前期比8ポイント改善したが、37四半期連続でマイナスとなった。(22.5 14.5)

## 2. 売上高の景況

売上高のBSIは、非製造業が減少幅は小幅ながら拡大したが、製造業は再び増加に転じたことから、減少幅が縮小した。(9.0 2.5)

## 3. 受注高の景況

受注高のBSIは、製造業が再び増加に転じ、建設業も減少幅が小幅ながら縮小したが、37四半期連続で減少となった。(6.5 1.0)

## 4. 経常利益の景況

経常利益のBSIは、製造業が再び減少に転じ、非製造業も減少幅が拡大したことから、42四半期連続の減少となった。(7.5 15.5)

## 5. 販売価格、仕入価格の景況

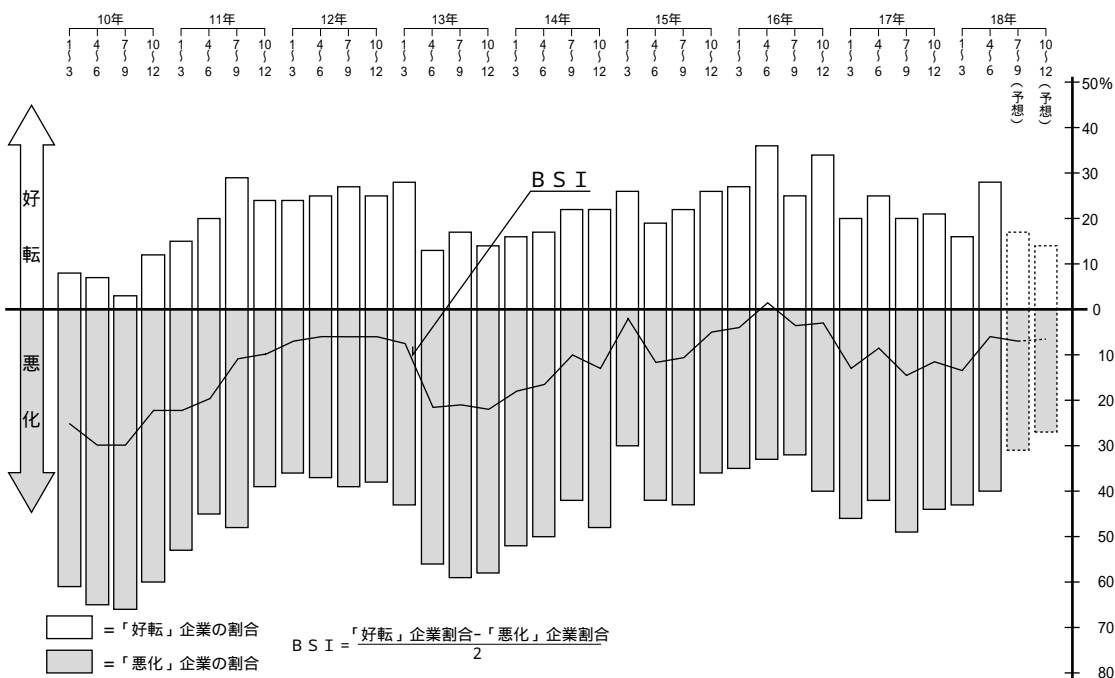
販売価格のBSIは、製造業の低下幅が小幅ながら拡大し、非製造業は縮小したことから、前期と同水準であった。(13.5 13.5)

仕入価格のBSIは、製造業、非製造業ともに上昇幅が拡大し、14四半期連続の上昇となった。( +15.5 +22.5)

## 6. 経営上の問題点

経営上の問題点(大きいものから2項目の選択)については、「売上・受注の減少」を選択する企業が全体の53%、「仕入価格の上昇」が38%、「販売価格の低下」が25%、「過当競争」が22%、「先行き見通し難」・「諸経費の増加」がともに17%が上位項目となった。「諸経費の増加」は平成9年以来約10年ぶりに15%を超えた。

図 - 1 自社業況の総合判断の推移



## 2 業況判断.....製造業は好転し、非製造業も改善

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて経営者の判断を示す「自社業況の総合判断」のBSI（好転の割合 - 悪化の割合）÷ 2は、18年4～6月は6.0で、1～3月の13.5より7.5ポイント改善し、前回（18年4月）調査の先行き（4～6月）予想の10.5からも4.5ポイント改善した。

今後の予想のBSIは、7～9月は7.0、10～12月は6.5とほぼ横ばいで推移する予想である。

製造業の業況判断のBSIは18年1～3月の5.5から4～6月は、金属・機械や電気機械などでプラス幅が拡大し、+2.5と8.0ポイント改善し、6

四半期ぶりに好転した。先行き7～9月は金属・機械が悪化に転じることなどから6.5と再び悪化に転じ、10～12月は7.0となる予想となっている。

非製造業の業況判断のBSIは、平成18年1～3月の22.5から4～6月は建設業や卸売業で大幅に改善したことから、14.5と8.0ポイント悪化幅が縮小した。先行き7～9月は、建設業が悪化する予想となっているものの、小売業や卸売業、運輸業などが改善し、7.0と引続き悪化幅が縮小し、10～12月も建設業や卸売業が改善することから、5.0と悪化幅が縮小する予想となっている。

図 - 2 業況総合判断（製造業）

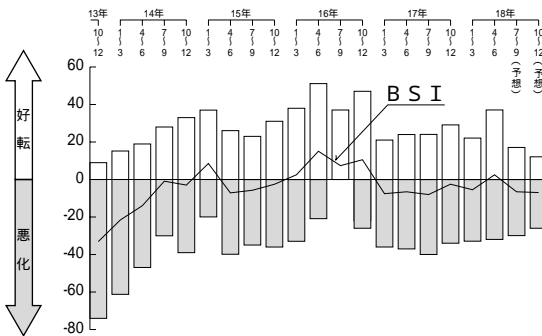
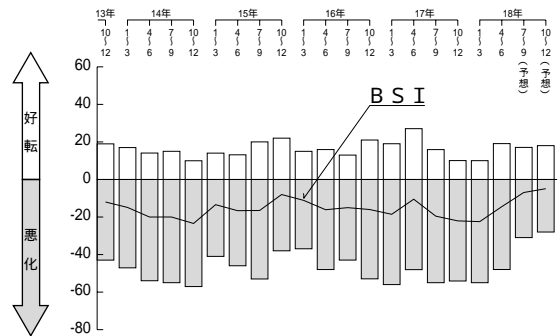


図 - 3 業況総合判断（非製造業）



## 3 売上.....製造業は増加に転じ、非製造業は悪化

製造業が再び増加に転じたものの、非製造業は減少幅が小幅ながら拡大した。

製造業は窯業・土石で減少幅が拡大したが、金属・機械や電気機械の増加幅が大幅に拡大し、食料品が増加に転じるなど、平成18年4～6月のBSIは、1～3月の6.5から13.0ポイント改善し+6.5となり、再び増加に転じた。10～12月は金属・機械や電気機械の増加幅が縮小することなどから+2.5となる予想である。

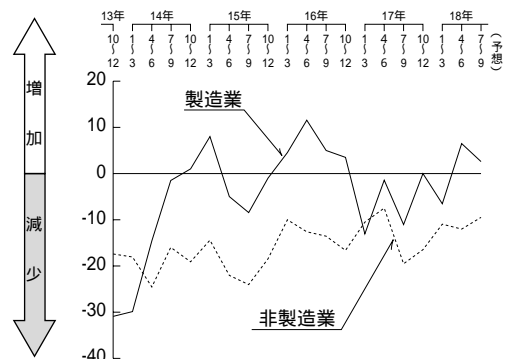
非製造業は卸売業と建設業で減少幅が縮小したが、小売業が減少に転じることなどから、BSIは1～3月の11.0から平成18年4～6月は12.0と小幅ながら悪化した。7～9月は小売業や卸売業などが改善することなどから9.5と減少幅が縮小する予想となっている。

なお、売上高の回答の集計は、全産業（回答のあった55社の加重平均）では、18年4～6月の実績が窯業・土石や卸売業で減少したが、電気機械や印刷・その他などで増加したことから5.2%増加した。7～9月の予想は食料品や建設業などが減少するものの、電気機械や卸売業などが増加することから引続き

3.1%増加する予想となっている。

産業別にみると、製造業（30社）は18年4～6月実績は9.5%増加、7～9月予想も4.6%増加する予想である。非製造業（25社）では、4～6月実績が1.2%増加、7～9月予想も1.7%増と引続き増加する予想となっている。

図 - 4 売上高のBSI



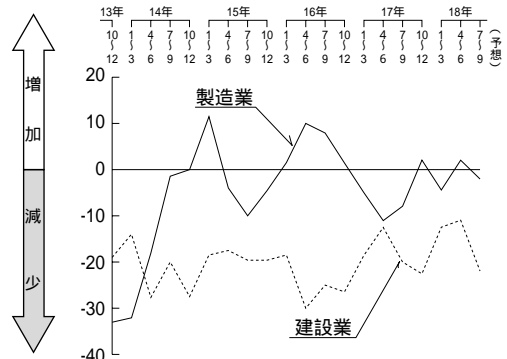
## 4 受注.....製造業は増加に転じ、建設業も改善

製造業は再び増加に転じ、建設業は改善した。

製造業は金属・機械や電気機械で増加幅が拡大し、木材・木製品が増加に転じ、印刷・その他や食料品で減少幅が縮小し、18年4～6月の受注高BSIは+2.0と再び増加に転じた。7～9月は金属・機械と電気機械が増加幅が大幅に縮小することから、2.0と再び減少に転じる予想である。

建設業の受注高BSIは、18年1～3月の12.5から4～6月は11.0と2四半期連続で減少幅が縮小した。7～9月は22.0と再び減少幅が拡大する予想となっている。

図 - 5 受注額のBSI



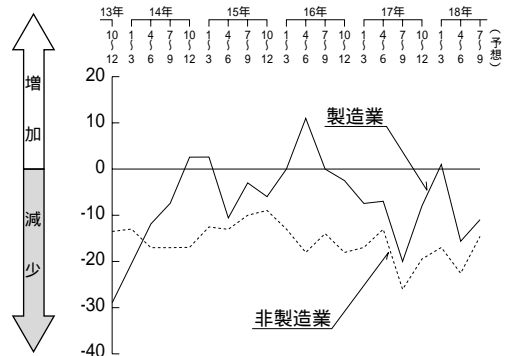
## 5 経常利益.....製造業、非製造業とも悪化

製造業は減少に転じ、非製造業も減少幅が拡大した。

製造業は、金属・機械で増加幅が拡大したが、電気機械や窯業・土石が減少に転じたことなどから、BSIは平成18年1～3月の+1.0から4～6月は8.5と再び減少に転じた。7～9月は食料品と紙・紙加工品が改善するものの、金属・機械や電気機械などが悪化し、11.0と引続き減少幅が拡大する予想となっている。

非製造業は、小売業と運輸業で減少幅が縮小したものの、建設業と卸売業で減少幅が拡大し平成18年4～6月のBSIは22.5と悪化した。7～9月は小売業が増加に転じることなどから、全体でも14.5と改善する予想となっている。

図 - 6 経常利益のBSI



## 6 在庫.....製品在庫は過剰感が増加、商品在庫、原材料在庫は減少

製品在庫は過剰感が増加し、商品在庫は減少した。

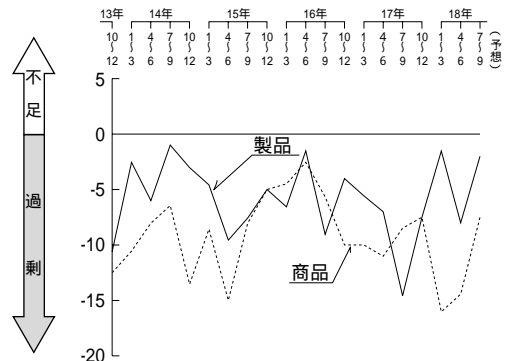
製品在庫のBSI「(不足 - 過剰) ÷ 2」は窯業・土石が過剰感に転じ、食料品や繊維・縫製などで過剰感が大幅に拡大したことから、BSIは18年1～3月の1.5から4～6月は8.0と過剰感が増加した。7～9月は、食料品や繊維・縫製などで過剰感が減少し、全体でも2.0と過剰感が減少する予想である。

商品在庫のBSIは、小売業は過剰感が増加したが卸売業は過剰感が減少し、全体でも18年4～6月は1～3月の16.0から14.5に過剰感が減少した。7～9月は卸売業、小売業ともに改善し、7.5と引続き過剰感が減少する予想である。

製造業の原材料在庫は、食料品や繊維・縫製などで過剰感が拡大したが、金属・機械で不足感が拡大し電気機械などで過剰感が減少したことから、BSIは18年1～3月の2.0から4～6月は1.5と過剰感が小幅ながら減少した。7～9月は、電気機械

が不足感に転じ、食料品や繊維・縫製などで過剰感が減少し、全体では+1.5と不足感に転じる予想となっている。

図 - 7 製品・商品在庫のBSI



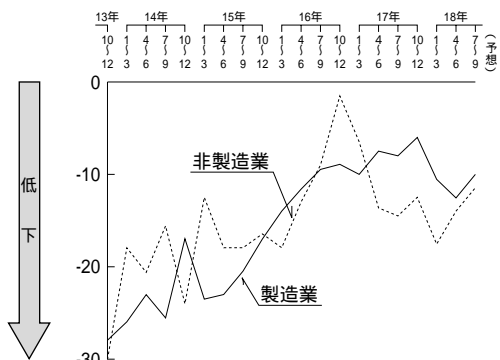
## 7 販売価格・仕入価格.....仕入価格・製造業、非製造業とも上昇幅が拡大

販売価格は前期と同水準だった。

製造業の販売価格のBSI〔(上昇-低下)÷2〕は、木材・木製品と印刷・その他で低下幅が拡大したことなどから、18年1～3月の10.5から4～6月は12.5と低下幅が拡大した。7～9月は紙・紙加工品が上昇に転じることなどから、全体では10.0と低下幅が縮小する予想である。

非製造業の販売価格のBSIは、旅館・ホテルや卸売業で減少幅が拡大したもの、小売業が増加に転じ建設業も減少幅が縮小し平成18年4～6月のBSIは14.0と改善した。7～9月は建設業や卸売業で減少幅が縮小し、全体でも11.5と引き続き改善する予想となっている。

図 - 8 販売価格のBSI

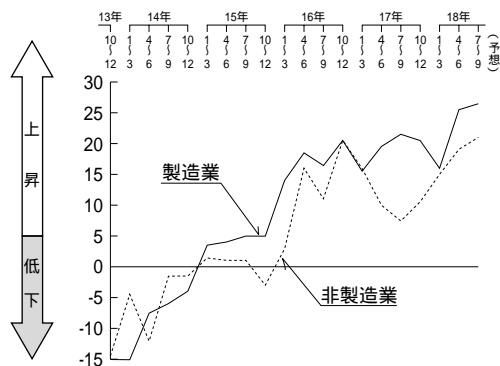


仕入価格は製造業、非製造業とも上昇幅が拡大。

製造業の原材料仕入価格のBSI〔(上昇-低下)÷2〕は紙・紙加工品で上昇幅が縮小したが、食料品や印刷・その他などで上昇幅が縮小し、18年1～3月の16.0から4～6月は25.5と上昇幅が拡大した。7～9月は、紙・紙加工品や窯業・土石などで上昇幅が拡大することから、全体でも26.5と小幅ながら上昇幅が拡大する予想である。

非製造業の仕入価格のBSIは卸売業や小売業で上昇幅が拡大したことから、1～3月の15.0から4～6月は19.0と上昇幅が拡大した。7～9月は建設業や卸売業などで上昇幅が拡大することから、21.0と上昇幅が引き続き拡大する予想となっている。

図 - 9 仕入価格のBSI



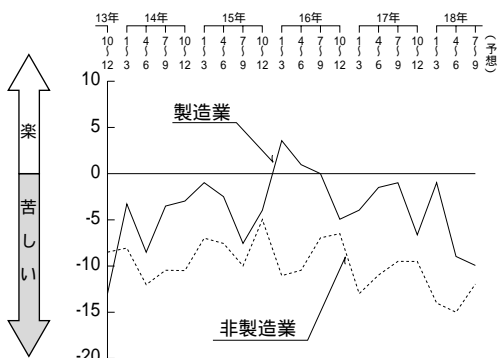
## 8 資金繰り・借入金残高.....資金繰り・製造業、非製造業とも悪化

資金繰りは製造業、非製造業とも悪化した。

製造業の資金繰りのBSI〔(楽-苦しい)÷2〕は食料品や電気機械が悪化したことなどから、18年1～3月の1.0から4～6月は9.0と悪化し、7～9月も10.0と小幅ながら引き続き悪化する予想となっている。

非製造業のBSIは、18年4～6月は建設業が悪化したことなどから15.0と1～3月の14.0から悪化し、7～9月は12.0と改善する予想である。

図 - 10 資金繰りのBSI

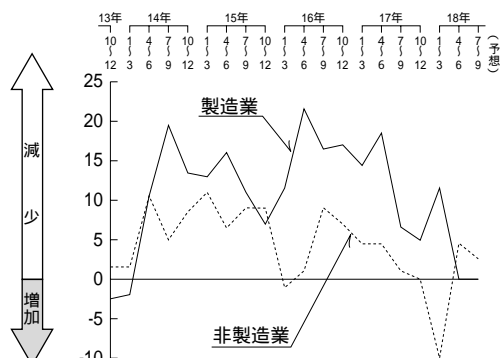


借入金残高は製造業で減少幅が縮小し、非製造業は再び減少に転じた。

製造業の借入金残高のBSI〔(減少-増加)÷2〕は電気機械で増加に転じたことなどから、18年1～3月の11.5から4～6月は0.0と減少幅が縮小した。4～6月も0.0と同水準で推移する予想である。

非製造業のBSIは、18年4～6月は、1～3月の10.0から4.5と再び減少に転じた。7～9月は2.5と小幅ながら減少幅が縮小する予想である。

図 - 11 借入金残高のBSI



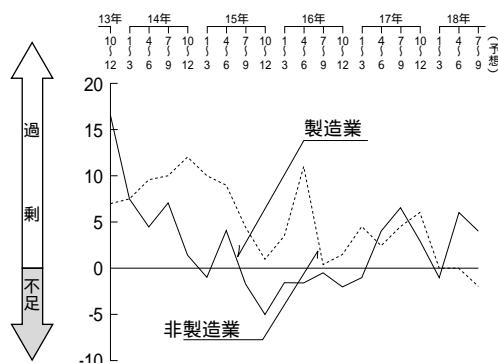
## 9 雇 用..... 製造業は過剰感に転じ、非製造業は横ばい

常用雇用者 B S I は、製造業は過剰感に転じ、非製造業は前期と同水準だった。先行きは製造業で過剰感が減少するが、非製造業は不足感に転じる予想となっている。

製造業の18年4～6月の常用雇用者 B S I 「(過剰 - 不足) ÷ 2」は、金属・機械と木材・木製品が不足感が減少し、電気機械などで過剰感が増加したことなどから1～3月の 1.0から6.0と再び過剰感に転じた。7～9月は4.0と過剰感が縮小する予想となっている。

非製造業の B S I は18年1～3月の0.0から、運輸業で過剰感が拡大し、建設業で不足感が増加したことなどから0.0と同水準で推移した。7～9月は2.0と不足感に転じる予想である。

図 - 12 雇用 (常用雇用者) の B S I



## 10 設備投資..... 製造業、非製造業とも減少

18年4～6月に設備投資をした企業は回答企業の36%で、前年同期実績(42%)を6ポイント下回った。

7～9月の設備投資計画は35%で前年同期実績(42%)を7ポイント下回る計画となっている。

製造業の18年4～6月の設備投資の実施割合は40%と前年同期実績(47%)より7ポイント低下、金属・機械や電気機械などが大幅に低下した。投資目的(複数回答、構成比、この項目は建設業を含む)は、「補修・更新」が61%、「合理化・省力化」が36%、「増産・能力増強」「新製品の生産」が21%などだった。7～9月の実施計画は47%と前年同期実績(47%)と同水準となる計画となっている。

非製造業の18年4～6月の実施割合は32%と前年同期実績(36%)を4ポイント下回った。小売業と卸売業などが低下した。投資目的(建設業を除く)は、「補修・更新」が79%、「販売力の増強」が29%、「合理化・省力化」が21%などだった。7～9月の実施計画は23%と前年同期実績(36%)を13ポイント下回る計画となっている。

表 - 1 業種別設備投資企業割合

( )内は前年同期実績: 単位%

	18年1～3月 実 績	18年4～6月 実 績	18年7～9月 計 画
全 産 業	38(34)	36(42)	35(42)
食 料 品	50(9)	33(67)	44(67)
繊維・縫製	0(0)	0(0)	0(0)
木材・木製品	0(0)	33(67)	33(67)
紙・紙加工品	20(33)	25(20)	25(20)
窯業・土石	0(50)	20(0)	20(0)
金属・機械	83(50)	77(50)	69(50)
電気機械	71(70)	46(67)	62(67)
印刷・その他	29(57)	22(50)	50(50)
製 造 業	48(40)	40(47)	47(47)
建 設 業	7(8)	22(20)	17(20)
卸 売 業	12(31)	24(35)	12(35)
小 売 業	88(38)	50(67)	42(67)
運 輸 業	50(50)	40(50)	40(50)
旅館・ホテル	20(33)	40(20)	20(20)
非 製 造 業	27(29)	32(36)	23(36)

図 - 13 設備投資実施企業の割合の推移

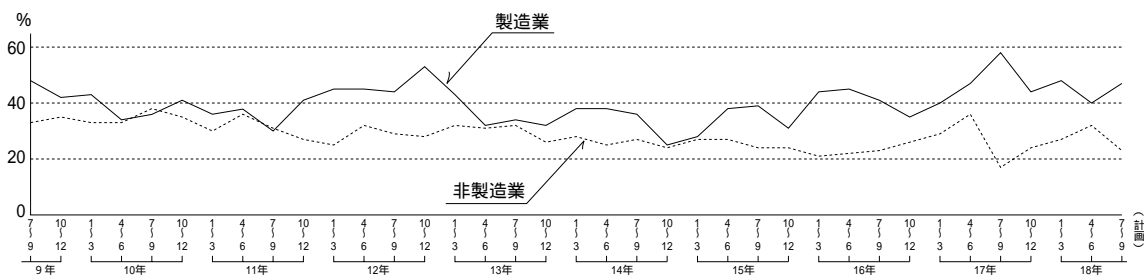






表 - 2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	18年1～3月実績				18年4～6月実績				18年7～9月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2
全産業		16	41	43	13.5	28	32	40	6.0	17	52	31	7.0
食料品		20	60	20	0.0	67	22	11	28.0	44	34	22	11.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	25	50	25	0.0	0	75	25	12.5
木材・木製品		25	50	25	0.0	0	67	33	16.5	0	100	0	0.0
紙・紙加工品		20	20	60	20.0	0	75	25	12.5	0	75	25	12.5
窯業・土石		33	34	33	0.0	0	20	80	40.0	0	20	80	40.0
金属・機械		33	34	33	0.0	46	39	15	15.5	8	69	23	7.5
電気機械		29	49	22	3.5	46	23	31	7.5	23	54	23	0.0
印刷・その他		0	29	71	35.5	33	11	56	11.5	22	34	44	11.0
製造業		22	45	33	5.5	37	31	32	2.5	17	53	30	6.5
建設業		6	31	63	28.5	22	28	50	14.0	17	22	61	22.0
卸売業		6	38	56	25.0	17	39	44	13.5	17	66	17	0.0
小売業		25	50	25	0.0	25	50	25	0.0	17	75	8	4.5
運輸業		25	0	75	25.0	20	0	80	30.0	40	20	40	0.0
旅館・ホテル		0	40	60	30.0	0	20	80	40.0	0	80	20	10.0
非製造業		10	35	55	22.5	19	33	48	14.5	17	52	31	7.0

表 - 3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	18年1～3月実績				18年4～6月実績				18年7～9月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		27	28	45	9.0	38	19	43	2.5	29	35	36	3.5
食料品		30	10	60	15.0	56	11	33	11.5	44	34	22	11.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	50	25	25	12.5	0	75	25	12.5
木材・木製品		25	50	25	0.0	0	100	0	0.0	33	34	33	0.0
紙・紙加工品		20	20	60	20.0	25	25	50	12.5	50	25	25	12.5
窯業・土石		0	67	33	16.5	0	0	100	50.0	0	20	80	40.0
金属・機械		42	25	33	4.5	61	24	15	23.0	46	31	23	11.5
電気機械		43	36	21	11.0	69	8	23	23.0	46	39	15	15.5
印刷・その他		0	14	86	43.0	44	0	56	6.0	33	11	56	11.5
製造業		28	31	41	6.5	48	17	35	6.5	37	31	32	2.5
建設業		25	31	44	9.5	33	23	44	5.5	22	17	61	19.5
卸売業		22	17	61	19.5	33	17	50	8.5	28	39	33	2.5
小売業		38	38	24	7.0	25	25	50	12.5	17	58	25	4.0
運輸業		25	25	50	12.5	20	20	60	20.0	20	40	40	10.0
旅館・ホテル		40	0	60	10.0	0	20	80	40.0	0	80	20	10.0
非製造業		27	24	49	11.0	28	20	52	12.0	21	39	40	9.5

表 - 4 業種別 経常利益 B S I

業種	判断	18年1～3月実績				18年4～6月予想				18年7～9月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		26	33	41	7.5	19	31	50	15.5	12	50	38	13.0
食料品		67	0	33	17.0	37	26	37	0.0	25	50	2	11.5
繊維・縫製		33	67	0	16.5	25	50	25	0.0	0	75	25	12.5
木材・木製品		0	75	25	12.5	33	0	67	17.0	0	67	33	16.5
紙・紙加工品		20	20	60	20.0	0	75	25	12.5	25	50	25	0.0
窯業・土石		33	34	33	0.0	0	40	40	20.0	0	40	60	30.0
金属・機械		42	16	42	0.0	31	46	23	4.0	7	87	15	4.0
電気機械		36	42	22	7.0	31	23	46	7.5	15	46	39	12.0
印刷・その他		29	14	57	14.0	22	11	67	22.5	11	33	56	22.5
製造業		37	28	35	1.0	25	33	42	8.5	12	54	34	11.0
建設業		6	44	50	22.0	6	22	72	33.0	11	22	67	28.0
卸売業		22	45	33	5.5	17	27	56	19.5	5	51	44	19.5
小売業		25	37	38	6.5	25	42	33	4.0	25	75	0	12.5
運輸業		0	0	100	50.0	20	20	60	20.0	20	40	40	10.0
旅館・ホテル		0	20	80	40.0	0	20	80	40.0	0	60	40	20.0
非製造業		14	38	48	17.0	14	27	59	22.5	12	47	41	14.5

表 - 5 業種別 販売価格 B S I

業種	判断	18年1～3月実績				18年4～6月実績				18年7～9月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		4	65	31	13.5	10	53	37	13.5	13	52	35	11.0
食料品		0	89	11	5.5	12	76	12	0.0	12	76	12	0.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	25	50	25	0.0	25	50	25	0.0
木材・木製品		0	100	0	0.0	0	33	67	33.5	0	67	33	16.5
紙・紙加工品		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	75	25	0	37.5
窯業・土石		10	60	30	10.0	0	80	20	10.0	20	60	20	0.0
金属・機械		8	67	25	8.5	8	77	15	3.5	8	77	15	3.5
電気機械		0	43	57	28.5	0	54	46	23.0	0	38	62	31.0
印刷・その他		0	86	14	7.0	11	22	67	28.0	11	22	67	28.0
製造業		2	75	23	10.5	7	61	32	12.5	14	52	34	10.0
建設業		0	33	67	33.5	6	38	56	25.0	12	32	56	22.0
卸売業		6	61	33	13.5	17	22	61	22.0	11	45	44	16.5
小売業		29	28	43	7.0	25	75	0	12.5	25	75	0	12.5
運輸業		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		0	60	40	20.0	0	40	60	30.0	0	40	60	30.0
非製造業		7	51	42	17.5	13	46	41	14.0	13	51	36	11.5

表 - 6 業種別 仕入価格 B S I

業種	判断	18年1～3月実績				18年4～6月実績				18年7～9月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		40	51	9	15.5	50	45	5	22.5	52	44	4	24.0
食料品		56	22	22	17.0	63	37	0	31.5	63	37	0	31.5
繊維・縫製		0	100	0	0.0	25	75	0	12.5	25	75	0	12.5
木材・木製品		25	75	0	12.5	33	67	0	16.5	33	67	0	16.5
紙・紙加工品		60	40	0	30.0	50	50	0	25.0	75	25	0	37.5
窯業・土石		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	20	80	0	10.0
金属・機械		50	42	8	21.0	62	30	0	31.0	54	38	8	23.0
電気機械		43	50	7	18.0	62	22	16	23.0	62	22	16	23.0
印刷・その他		14	86	0	7.0	89	11	0	44.5	89	11	0	44.5
製造業		39	54	7	16.0	56	39	5	25.5	58	37	5	26.5
建設業		54	38	8	23.0	50	44	6	22.0	56	38	6	25.0
卸売業		33	50	17	8.0	50	39	11	19.5	50	44	6	22.0
小売業		29	57	14	7.5	17	83	0	8.5	25	75	0	12.5
運輸業		100	0	0	50.0	100	0	0	50.0	100	0	0	50.0
旅館・ホテル		20	80	0	10.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
非製造業		41	48	11	15.0	43	52	5	19.0	46	50	4	21.0

表 - 7 経営上の問題点（上位項目）

（単位：％）

	問題点	13年				14年				15年				16年				17年				18年		
																							予想	
製 造 業	1 仕入価格の上昇	6	6	4	5	4	5	6	11	12	13	14	14	22	38	41	30	31	38	40	41	33	50	50
	2 売上・受注の減少	63	74	70	77	73	64	61	62	47	49	52	54	41	36	41	41	50	48	47	46	55	38	36
	3 諸経費の増加	3	3	5	4	2	7	3	2	10	8	6	7	11	9	12	10	10	6	16	15	16	25	19
	4 販売価格の低下	45	32	27	44	25	31	43	31	30	48	42	29	30	23	23	17	18	13	22	18	22	22	22
	5 先行き見通し難	37	42	34	40	44	41	45	41	38	38	35	27	29	32	25	22	26	19	18	16	22	20	33
	6 人件費の増加	4	5	7	7	4	5	4	5	7	0	6	2	5	8	17	6	10	16	9	9	7	13	16
	7 過当競争	18	14	20	12	15	21	18	15	17	19	17	20	19	20	17	17	23	20	24	18	21	12	12
	8 金利負担の増加	1	2	2	2	4	2	1	3	2	0	1	0	3	1	3	1	2	2	4	4	2	5	3
非 製 造 業	1 売上・受注の減少	62	66	65	64	66	67	63	74	79	69	60	59	68	64	63	56	64	66	61	67	65	69	75
	2 過当競争	42	41	30	29	29	35	35	28	27	29	25	37	38	36	28	25	29	34	29	33	25	33	31
	3 販売価格の低下	32	33	35	29	40	27	28	38	23	27	27	33	30	21	18	19	25	17	16	23	20	29	31
	4 仕入価格の上昇	9	7	0	2	7	5	7	9	14	11	2	6	7	16	24	18	22	20	21	13	20	26	29
	5 先行き見通し難	19	18	30	28	22	35	33	26	29	22	31	27	17	14	21	25	22	29	21	18	24	14	22
	6 資金繰り難	11	8	13	16	14	10	10	10	14	16	15	8	13	16	10	6	14	10	14	15	14	12	16
	7 諸経費の増加	4	3	8	5	3	3	5	2	4	0	7	8	3	4	10	7	7	10	9	12	12	9	14
	8 人件費の増加	4	7	10	7	2	2	0	5	4	5	4	6	3	4	3	1	0	3	2	7	2	5	4

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

お客様の事業資金をバックアップ!!

とりぎん **活 力** シリーズ

かつりよく

中小事業者向け融資

3つのラインナップから貴社に最適な商品をお選びいただけます。

短期運転資金

地域振興ファンド  
**活力**

- ① 利率 年**1.5%**～
- ② 原則 無担保・第三者保証人不要
- ③ 保証料不要

長期運転資金

**活力II**

信用保証協会保証付

- ① ゆとりの**5年**返済
- ② 無担保・第三者保証人不要
- ③ 原則翌営業日回答

長期運転資金

**活力III**

オリックス(株)保証付

- ① **2,000万円**までの融資幅
- ② 無担保・第三者保証人不要
- ③ ゆとりの**5年**返済

お問合せ

とりぎんダイレクトセンター  
**0120-86-6915**  
平日(銀行休業日を除く) 9:00～17:00

<http://www.tottoribank.co.jp>

TOTTORI  
BANK



青い鳥の銀行です。

**鳥取銀行**

平成18年8月25日現在

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています



TOTTORI BANK

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部  
くらしと経営相談所

〒680 8686 鳥取市永楽温泉町171番地  
TEL 0857-37-0220